

参加各位

「馬場小室山遺跡フォーラム」第93回ワークショップ

【復興の原動力！パブリック・アーケオロジー2019】

馬場小室山遺跡とまちづくり環境の「かかわる」から、「山田湾文化」の「つながる」パブリック・アーケオロジーへ

＜馬場小室山遺跡研究の新展開—縄文塚(「環提土塚」集落)の終焉から地域文化の解体にみる広域連動の解明—＞

知識・経験・思考・領域等にみられる現代的限界からの証拠に基づく知的解放を目指して活動します！

<p>新展開1 (ムロ1) ～ (ムロ10) は以前のレ ジュメ参照</p>	<p>「ムロさま」の 「限界領域」打破 (墓場の公共性にみ る墓式と葬式、及び 「人骨集積」の真相)</p>	<p>馬場小室山遺跡「第51号土壙」から展望する縄文時代の葬墓式と「土器社会論」—「ムロさま」の「累積型改新土坑墓」と「積葬墓」から探る「追埋設型土器棺集積墓」への途— (ムロ10)「再帰型再葬墓」の風習と巨大「再葬祭場」の出現【『利根川』40】 (ムロ11)山田町浜川目沢田Ⅰ遺跡における「大洞C1式」の「土器集積の風習」 (ムロ12)「人骨集積」から「土器集積の風習」(祭式と葬式の統合)へ【『古代』142】 (ムロ13)「土器集積の風習」と「逆位壺」がら「再葬壺棺墓」の出現へ【『福島考古』60】 (ムロ14)粗製深鉢棺から大形壺棺の出現へ【『福島考古』60】 (ムロ15)七社宮遺跡の「大洞A1式」期初頭の「逆位人面文注口付壺」【『福島考古』60】</p>
<p>新展開2 (オム1) ～ (オム5) は以前のレ ジュメ参照</p>	<p>「オムちゃん」と 「ムロさま」との 「限界知識」打破</p>	<p>土偶と土面／顔面付土版／人面文土器等の関係、そして容器形土偶／顔壺へ (オム6)大宮台地における人面文土器の類例追加:地獄田遺蹟2例、小林八束1遺蹟1例 (オム7)「祭式土偶」から「葬式土偶」(祭式と葬式の統合)へ【『利根川』40等】 (オム8)青森県川原台遺跡と岩手県山田町浜川目沢田Ⅰ遺跡の人面文土器 (オム9予告)「鬮籠信仰」は「ムロさま」から容器形土偶や顔壺の土坑墓へ</p>
<p>新展開3 (シオ1) ～ (シオ3) は以前のレ ジュメ参照</p>	<p>「シオ(塩)もん」の 「限界経験」打破 縄文時代の製塩土 器は「探鹹・せん ごう土器」が真相！ 固形塩の物流では なく、「大形魚塩蔵 品」・「汽水系塩 (海水)煮」に留ま らず、「濃縮海水を 内陸で希釈する 「淡水魚(含む特 産ウナギ)塩(海 水)煮」の普及か？</p>	<p>「製塩土器」の確立から製塩遺跡の操業へ、爆発的普及の晩期社会と「定住制」の定着 (シオ4)下布田遺跡の「製塩土器」在地性は古鬼怒湾型変遷との乖離！／枯れたアマモを特 定の場所に集めて乾燥させる「塩草場」の存在、及び天日と地熱(熱砂)利用の探 鹹・せんごう工程に相応しい「製塩土器」鉢形態の確立 (シオ5)宇都宮市刈沼遺跡からは寺野東遺跡よりも多数の「製塩土器」が検出し、在地で淡水 魚の「塩煮」が浮上。鬼怒川流域の口縁部形態は下布田遺跡(板状工具＋ナデ調 整)とは大きく異なり、「古鬼怒湾系列」である口縁部水平ヘラカットが定着 (シオ6)三陸北部における「製塩土器」の年代と系統(1)久慈市大芦Ⅰ遺跡の長胴深鉢形態 と僅かな出土点数に注目した「探鹹・せんごう土器」の提唱 (シオ7)六十軒遺跡の「製塩土器」二者(古鬼怒湾ケズリ系列VS無文ナデ系列)の意義 【『利根川』40】 (シオ8)古鬼怒湾で後期中葉から大量出土の粗製土器とウナギのブツ切り「塩(海水)煮」/ 「探鹹・せんごう土器」の定着に果たす古鬼怒湾ウナギ「塩(海水)煮」に注目！ (シオ9)シカやサルが舐めていた「縄文山塩」の発見と「山塩煮」の縄文鍋 (シオ10)「微小貝類から想定される「葦灰」製塩の可能性」？アマモは「藻灰」×「草灰」○ (シオ11)「製塩土器」に観る「大宮台地系列」(馬場小室山)、「武蔵野台地系列」(正綱・下布田) (シオ12)古鬼怒湾の「魚食・塩(海水)煮文化」と加曾利貝塚の「貝食・塩(海水)煮文化」 (シオ13)「補注式灰煮沸法」は現代人のおとぎ話か？「製塩土器」の膨大な個体数と爆発 的普及に見合う「アマモ灰」製作は煮沸によるせんごう過程と二度手間では非効率！</p>
<p>新展開4</p>	<p>「タマきみ(君)」の 「限界思考」打破</p>	<p>ヒスイ製勾玉・小玉の晩期流通(関東各地域拠点でも製作)と弥生時代中期中葉「再葬壺棺 墓」への流通実態(上越周辺北信経由)解明 (タマ1)熊谷市飯塚南遺跡の土坑墓出土ヒスイ製勾玉と飯塚遺跡群 (タマ2)長野県坂城町保地遺跡の抜歯人骨とヒスイ製垂飾品の年代【『利根川』39】 (タマ3)岩手県山田町浜川目沢田Ⅰ遺跡の晩期ヒスイ製勾玉の紹介</p>

大田堯先生が2018年12月23日に百歳で天寿を全うされました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。 合掌



1. 【地域とパブリック・アーケオロジーの底力】：各地域における自然の恵みと基層文化の形成を考えよう！

1-1. 【「ムロさま」と吊いの先史考古学】：所謂「再葬墓」の実態を求めて遺構を分析しましょう！

★<図版出典>設楽博己(2008)『弥生再葬墓と社会』及び当該遺跡の発掘調査報告書

(1)【埼玉県における弥生時代の所謂「再葬墓」について】：宅間清公氏の別添資料参照

・弥生時代前期で注目すべきは、熊谷市横間栗遺跡の「再帰型再葬壺棺墓」です。

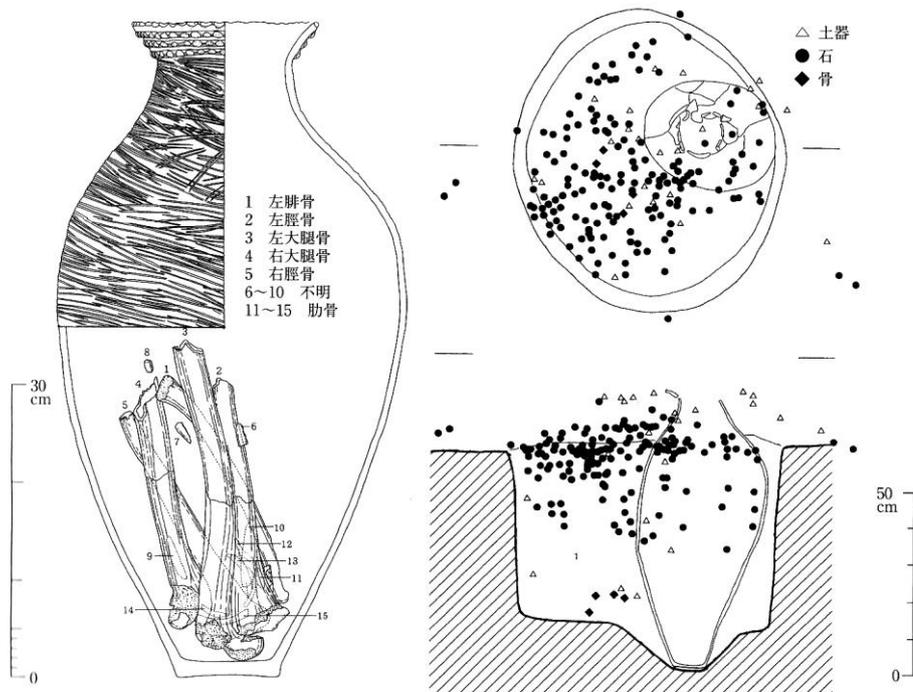


図 22 埼玉県横間栗遺跡第 1 号再葬墓と出土土器・人骨

(2)【「再帰型再葬墓」の風習はどこへ行く?】：「再帰型再葬壺棺墓」は横間栗遺跡だけでしょうか？

- ・小山市乙女不動原北浦遺跡の晩期中葉「安行3c式」期例は以後に継承されないのでしょうか？
- ・群馬県藤岡市沖Ⅱ遺跡では弥生時代前期の「再帰型再葬土器棺墓」が見られます。

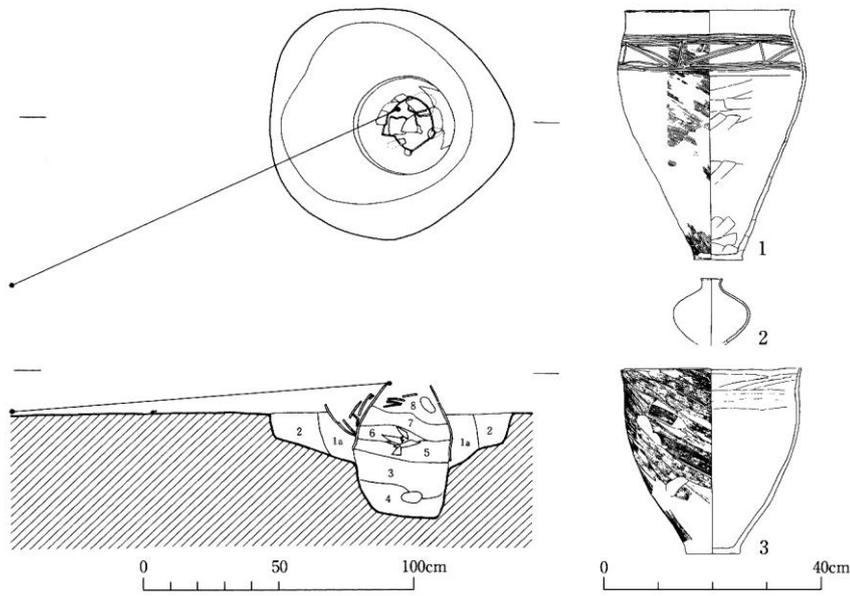
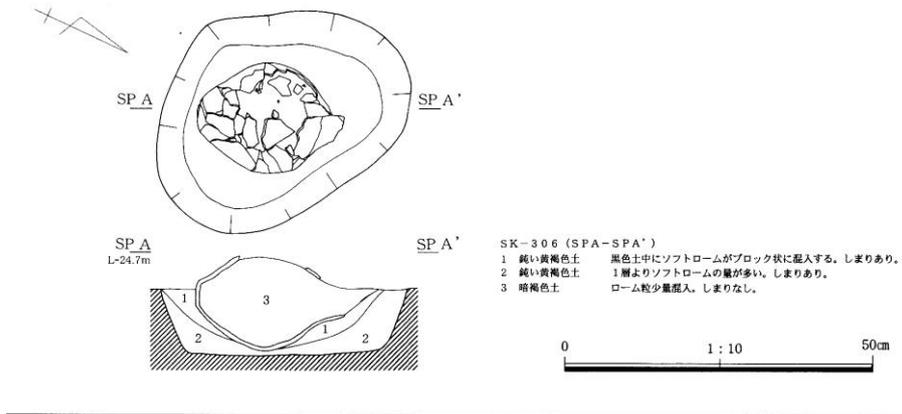
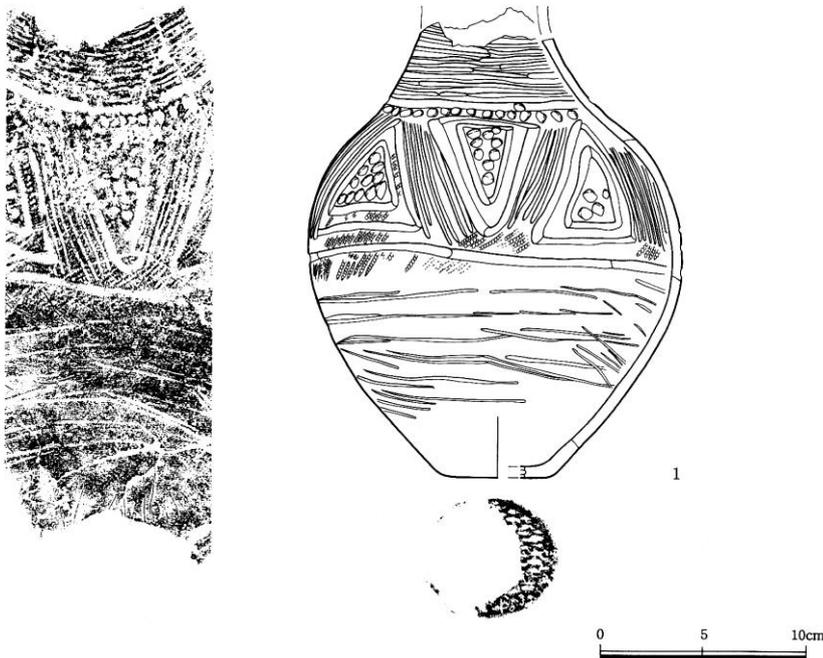


図 37 群馬県沖 II 遺跡 AU-1 号土器埋設土塚と出土土器

・栃木県野木町清六Ⅲ遺跡の弥生時代中期中葉の埋設壺棺には、正位以外に「再帰型再葬壺棺墓」の「横位壺棺」の展開も続いています！
 因みに沖 II 遺跡では弥生時代前期に「再帰型再葬壺棺墓」の「横位壺棺」が展開します。



第75図 SK-306遺構実測図



(3)【縄文時代晩期における大形壺棺の出現と「逆位壺棺」の展開】：大形壺棺の出現期は「大洞A1式」前葉！

弥生再葬墓と社会

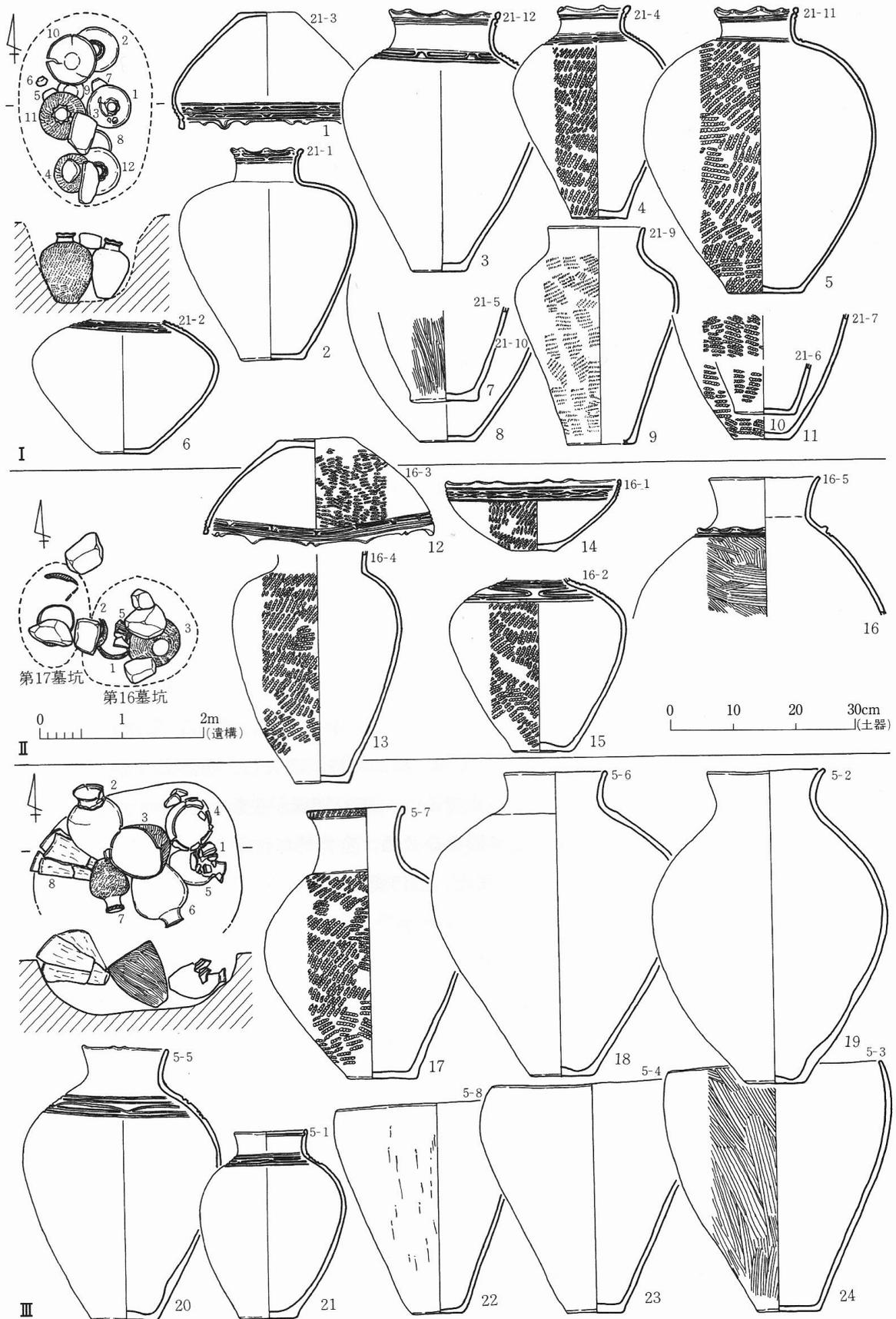


図53 福島県根古屋遺跡第21墓坑 (I)・第16墓坑 (II)・第5墓坑 (III)と出土土器

(4)【「追埋設型土器棺集積墓」の常態化】：追埋設型は「大洞A1式」から弥生時代中期中葉まで継続します！

・今回は弥生時代中期中葉の栃木県野木町清六皿遺跡における埋設壺棺の集積状況を別添資料で紹介
します。学史的に著名な旧下館市女方遺跡も同様な埋設形態が多いようです。

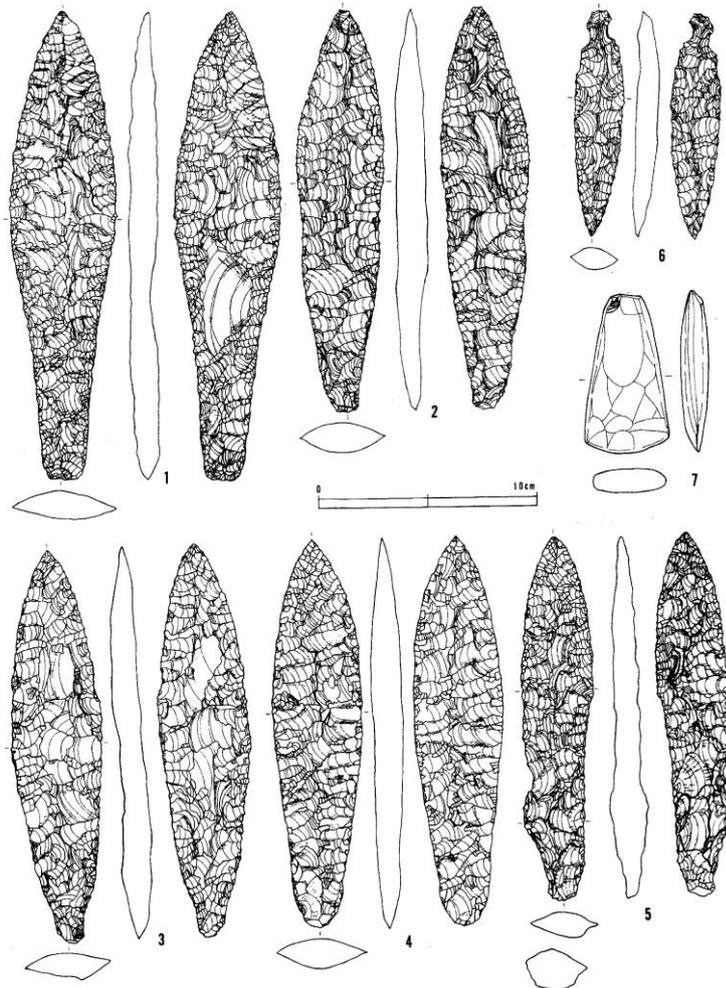
1-2. 「山田湾まるごとスクール」：復興10年を見据えた取り組みを目指して！

(1) 第6回「山田湾まるごとスクール」(9/1-3)のその後

- ・3/2(土)・3(日)の両日に行われる**コムナーレフェスティバル**に参加
- ・**第6回記録集**は、3/3(日)発行(恒例のコムナーレフェスティバルでのワークショップにて配布)予定

(2)「山田湾と水産考古学」：水産考古学では**海獣猟**、「**サケ・マス論**」、**コンブ等海藻採集**を考えます。

- ・船越半島の**大洞(田ノ浜)貝塚**では「**大木10式**」(岩手県博蔵)と「**門前式**」(吉田義昭報告)に**マッコウクジラの肋骨製刀**を含む**海獣骨**が検出されている。
- ・山田町房の沢古墳群に隣接する**沢田 I 遺跡RA202**から検出された**海獣猟関係の一括出土石器群**



2. 【その他情報交換など】：自由な意見交換とワイン・アーケオロジー

2-1. 今後のワークショップ関連日程について

- ・3/3(日)：第94回「山田湾まるごとスクール」ワークショップ
★3/2(土)・3(日)の両日は**コムナーレフェスティバル**
- ・3/24(日)or3/31(日)：第95回お花見ワークショップ
- ・5/4(みどりの日)：馬場小室山遺跡の**クリーンアップ**と**青空考古学教室**、続いて**第96回**ワークショップ
★青空考古学教室で**大田堯先生**との**お別れ会チラシ**を検討中！
- ・7/24(水)～8/11(日)：遥かな**縄文土器(井出政男個展)**ワークショップ ★8/4(日)にワークショップ
- ・12/1(日)：飯塚邦明**ジャズピアノコンサートNo. 13** ★ワークショップ後、希望者は文化センターへ

2-2. 企画展など

- ・国立科学博物館の企画展「**砂丘に眠る弥生人**」(~3/24(日))：**65歳以上無料!**

2-3. その他

以上

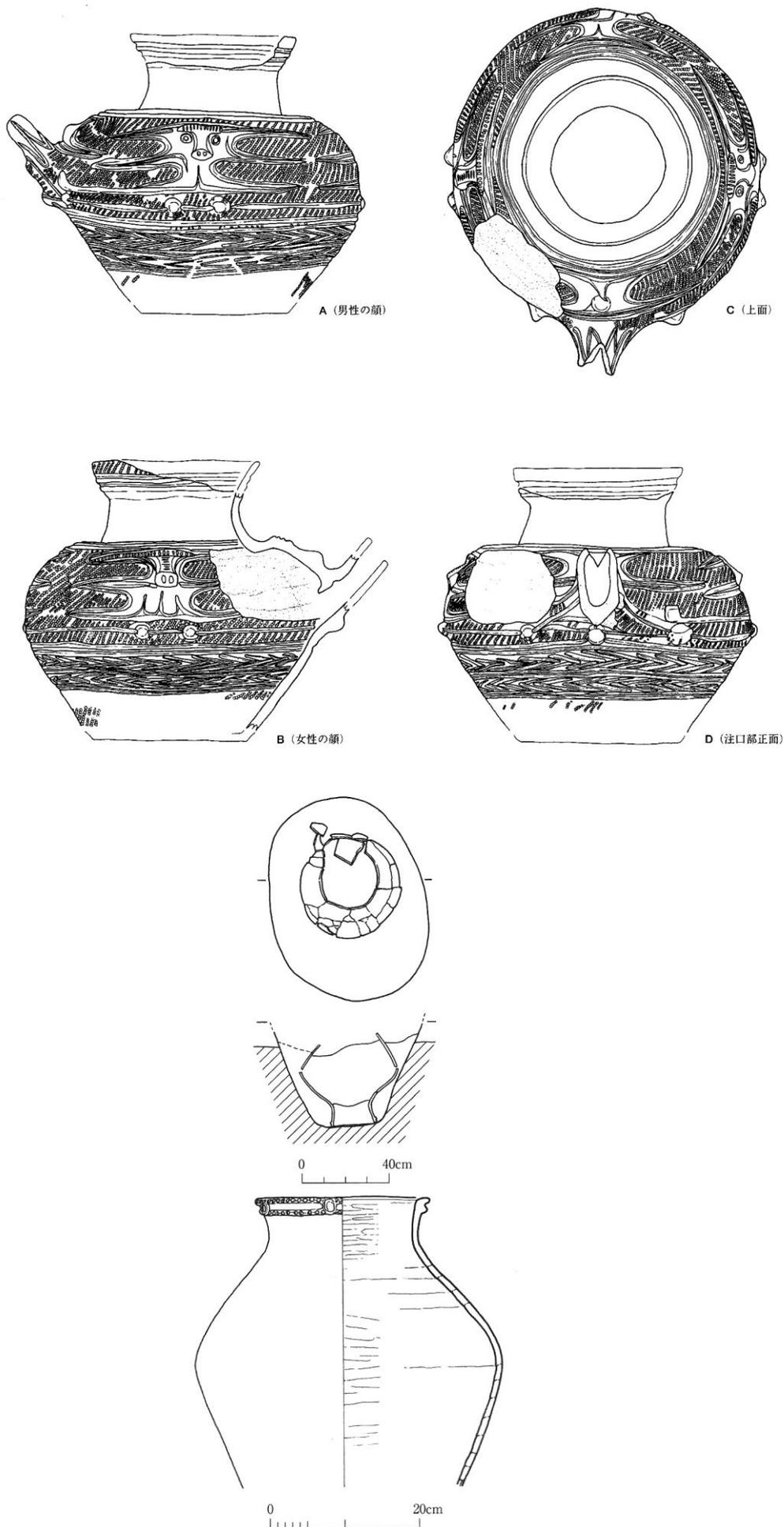


図77 長野県篠ノ井遺跡体育館地点5号土坑再葬墓と出土土器